

# 環境研究総合推進費 シンポジウム



# 持続可能な地域社会と 自然保護地域

参加費  
無料



国立公園をはじめとした自然保護地域の役割は、社会の変化に合わせて変化してきています。私たちの研究プロジェクトでは、自然保護地域を生物多様性保全と持続的・地域社会構築を両立させるモデル地域と捉え、モデル地域での経験を保護地域外へと広げ、広域の地域全体が持続的・地域社会として生まれ変わっていくことを最終目的としています。

今回のシンポジウムでは、こうした自然保護地域の新たな役割を実際に推進していくために必要なガバナンス（誰がどのように意志決定を行うか）のあり方を、観光、防災という地域の喫緊の課題を参照しつつ、ご参加の皆さんと共に考えたいと思います。

日時

2016年11月26日（土）  
午後1時00分～午後5時00分

場所

公益財団法人日本交通公社  
旅の図書館内 ライブラリーホール  
（東京都港区南青山2-7-29 下地図参照）

プログラム

[報告]

- ①「自然保護地域のガバナンス」土屋 俊幸（東京農工大学教授）
- ②「アメリカ国立公園局による地域協働の取組み」熊谷 嘉隆（国際教養大学教授）
- ③「観光による地域振興と自然保護地域」寺崎 竜雄（(公財)日本交通公社 理事）
- ④「被災地レジリエンスと自然保護地域」山本 清龍（岩手大学准教授）
- ④「自然保護地域管理・利用規制の評価」愛甲 哲也（北海道大学准教授）

●コメンテーター： 宮内 泰介（北海道大学教授）

[パネルディスカッション]

●座長： 栗山 浩一（京都大学教授）

●パネリスト： 講演者全員



[お問い合わせ・お申込み先]

●下記のメールアドレスを直接入力もしくはQRコードをご利用下さい。なお、QRコードは、Google Mapにもアクセスしていますので、ご来場の際には、ご利用下さい。



Email : np4\_1407@cc.tuat.ac.jp

国立公園推進費プロジェクト(担当:東京農工大学 林好美)

[アクセス] 東京メトロ銀座線・半蔵門線、都営大江戸線「青山1丁目」5番出口徒歩3分